

ソーシャルデザイン学科って？

ソーシャルデザインとは、人と社会が抱える様々な問題に「気づき」、「伝え」、そして**解決策を「提案する」**活動です。

ソーシャルデザイン学科では、芸術的な感性と表現力を育むとともに、様々な問題を解決するための「**デザイン思考**」と「**実践力**」を身につける教育を行っています。

アプローチ

映像表現

地域社会におけるデザインの活用を目指し、様々な取り組みを行っています。関門海峡花火大会では、映像表現の技術を活用し誘導案内情報を建物に投影する「**ガイドプロジェクション**」を学生と共に実施しています。



混雑場所や経路を示してくれてわかりやすい!!



趣味



カメラ

学生時代から写真を撮るのが好きでしたが、最近は動画も撮影できる一眼カメラで子どもたちをよく撮影しています。



芸術学部 ソーシャルデザイン学科



IWATA ATSUYUKI
岩田 敦之 講師

情報デザイン専攻

アプローチ

グラフィックデザイン

文字を美しく、読みやすく活用する**タイポグラフィ**の研究にも取り組んでおり、ポスターやサイン、デジタルサイネージなどの制作も行っています。



学科のシンボルやロゴ、チラシは先生がデザイン

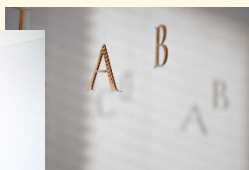
スタイル

シンプル

ごちゃごちゃと物が溢れた部屋に一輪の花を置いても目立つことはありませんが、真っ白な空間にポンと置いたらどうでしょうか。これが効果的な情報伝達のポイントです。

たくさんの情報を追加するのではなく、不必要なものの排除によってメッセージは明確化されます。こうした考え方を、日常のあらゆる場面で心がけています。

生活スタイルも自然とシンプルに!!



研究室はこんな感じ!!

研究

このように、映像やグラフィックデザインを中心とした作品制作を通じて、**効果的なビジュアルコミュニケーション**の方法について研究を行っています。